



テーマ

Theme

学校名

School name

講師等

Lecturer

実施日

Date

教科等

Subject etc.

「滋賀の宝“BIWAKO”

びわ湖を学ぼう！びわ湖で学ぼう！」

草津市立志津南小学校(5年生)

オプテックス株式会社

平成 24 年 9 月 28 日

総合的な学習の時間

授業
Class

当日は晴天に恵まれ、琵琶湖は遠くまで青々と広がり、キラキラと輝く水面で児童らはカヌーに乗船し、外来魚の調査やヨシ紙を使って笛作りに熱中して取り組みました。

カヌーはまず陸上で、船内の足位置や、パドルング、転覆した際の脱出方法などの基本を学びました。ライフジャケットを装着し、岸までカヌーを運んで乗り込むと、いざ船出です。沖約 80m の距離に旗を掲げたスタッフがカヌーをこいで、児童らを先導してくれます。あっという間にたどり着く児童もいれば、途中で友だちのカヌーとぶつかり、強風に煽られ岸へ戻ってきてしまう児童など様々でした。その後、水上 3m もあるヨシ帯の中をカヌーで探検しました。

外来魚調査では、琵琶湖に生息するブルーギルなどの外来種と、モロコなどの固有種の漁獲量の推移を通して、琵琶湖の生態系の変化とその原因について学習しました。

その後、ドッグフードをえさに栈橋で釣りに挑戦しました。釣れたのはブルーギルとオオクチバスなどいずれも外来魚 5 匹。釣れた児童はクラスで 4 人ほどでした。南湖に外来魚が多いことや、釣りの難しさを体験したようです。またヨシを加工し有効活用した例として、ヨシ紙で笛作りをしました。



感想

Impression

on

生徒より Impression from Children

- 波でカヌーが揺れるし、風で流されるし、パドルは重たくて思った方向に進むのが難しかったです。
- カヌーのパドルにはひねりがあって、腕で調整しながらパドルングするのが難しかったけど、パドルの広い面で水をとらえると、ひとこぎでぐーんと進みました。琵琶湖一周できるようになりたいです。
- ヨシは 4m も伸びると聞いていましたが、実際見てみると本当に高いなと思いました。ヨシの中に鳥の巣もみつけたのですが、カヌーの操縦が難しくてゆっくり見られませんでした。
- 思った以上に魚がなかなか釣れなくて悔しかったです。小さくちぎったドッグフードを釣り針にひっかけるのには集中力が必要だし、魚が食べにくるまでひたすら黙って待つのが難しかったです。
- 「黙ってじっと待つのがコツ」と釣れた友だちに聞いたのでじっと待っていたら、終わるまで魚にえさが食べられていたことに気づきませんでした。でも楽しかったです。

学校より Impression from school

オプテックスのスタッフの皆様が授業に慣れてくださったので、打合せも授業もスムーズに進めて下さいました。写真や図解入りのカラープリントの資料などもあり、子ども達にもわかりやすく本当によかったです。

講師より Impression from lecturer

今回はコクヨ工業滋賀様との連携ということもあり、とても面白い取組になりました。当施設で行う体験活動の時間だけでは、ヨシの大切さを伝えきれず、前週にコクヨ工業滋賀様が出前授業においてご指導されたため、子ども達がヨシについて高い関心をもって活動に集中してくれました。

企業と企業が連携して、学校を支援する取組も面白いと感じました。今後も実施してみたいと思います。